

令和８年度 生物応用化学科３年生 学外研修実施報告

令和８年５月８日（金）、生物応用化学科３年生を対象として、愛媛大学農学部生命機能学科における学外研修を実施しました。

午前中は、愛媛大学ミュージアムを見学し、大学の歴史や研究成果について学びました。館内では、鉱物や古生物に関する展示に加え、愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターが開発した人工ダイヤモンド「ヒメダイヤ」に関する展示などもあり、学生たちは熱心に見学していました。また、体験型展示にも積極的に取り組む様子が見られました。

午後は樽味キャンパスへ移動し、生命機能学科の紹介、本校卒業生による大学生活や研究内容の紹介、研究室見学ツアーなどに参加しました。研究室見学では、有機化学、生化学、微生物学、栄養科学、動物細胞工学など、幅広い分野の研究について説明を受けました。見学では、顕微鏡を用いた観察や研究設備の紹介だけでなく、「世界でまだ知られていないことを自分で見つけられる研究」といった大学教員の言葉に強く印象を受けた学生も多く見られました。また、本校卒業生による講話では、大学生活や進路選択、研究活動について実体験を交えた紹介が行われ、学生たちは真剣に耳を傾けていました。

学生からは、

「大学での研究を具体的にイメージできた」

「高専で学んでいる内容が大学での研究につながっていると感じた」

「進路について考える良い機会になった」

などの感想が寄せられました。

今回の研修を通して、学生にとって大学での学びや研究を身近に感じる貴重な機会となりました。

